

煙燻製を開発 アルミブース

屋外型と屋内型の2タイプ

坂口製作所

アルミ・ステンレスに特化した板金・溶接



喫煙ブース（屋外型）の内部と外観

・組立加工業者、坂口製作所（本社・大阪市西成区、社長・坂口清信氏）はこのほど、クリーンブースの設計・製造・現地組立作業の技術とノウハウを活用して、独自製品「アルミ製喫煙ブース」を開発した。

喫煙ブースは屋外型と屋内型の2タイプ。喫煙ブースの特長は①送風機を使い脱臭フィルターを通した煙草の煙を高さ2・3層の位置からブラス外に放出②送風機稼動中、喫煙ブース内は陰圧になり外部から新鮮な空気がブース内に流入③100V電源を使用④顧客の要望にに応じ、設置場所、素材、サイズ、デザインなどが自由に設計できることにある。

喫煙ブースは屋外型と屋内型の2タイプ。喫煙ブースの特長は①送風機稼動中、喫煙ブース内は陰圧になり外部から新鮮な空気がブース内に流入③100V電源を使用④顧客の要望にに応じ、設置場所、素材、サイズ、デザインなどが自由に設計できることにある。

アルミ製の材がアルミニウムで、壁面についてはアルポリック（アルミ樹脂複合材）パネルまたはアルミパネルを使用している。部品の大きさは幅1900mm×奥行1900mm×高さ1900mmとなっている。当社では1998年から、清浄度でクラス100（0.5μm以上の浮遊物が1立方

メートル内に100個以下）が実現可能なアルミニウム製およびステンレス製のクリーンブースを製造。クリーンブースは製薬、食品、化学、半導体など国内外の多くの工場へ納め

てきた。喫煙ブースはこのクリーンブースの種々のノウハウをブースに活用している。クリーンブースおよび喫煙ブースを扱った（坂口社長）。

同社HP（<http://www.aguthi-ss.co.jp/pdft/05/index35/>）まで。坂口製作所は1951年の創業で、86年の設立。従業員数が82人。生産品目は新幹線の部品、空港化学消防車用

水槽、実験動物飼育ラック、食品・製菓工業用トレーなど。難燃性マグネシウム合金の溶接やクリーンブースの製造に力を入れている。

坂口製作所はアルミ溶接・ステンレス溶接のトップランナーを標榜、高い加工技術と豊富な実績が強み。和歌山工場は軽金属溶接協会の「軽金属溶接機造物製造工場M級」に認定されている。

鉄鋼新聞

2020年4月27日付5面